

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施状況及び事業効果

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施状況及び事業効果	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
					国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	その他 (E)			
1	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業	①②長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業所に対する協力金等給付事業への市町村協力金(1事業所当たり県20万円・市町村10万円の計30万円を給付) ③66事業所×10万円(市町村協力金分) ④長野県(事業者へは県から給付)	新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けている事業者に支援することができた。 支援事業者数:66件	6,600,000	6,600,000		6,600,000		R2.4.1	R2.10.12
2	子育て世帯家計支援金	①②学校の休業や保育所等の登園自粛等に伴う家計の負担増を補うため ③給付金2万円×2,660人=53,200,000円、給付金3万円×10人=300,000円、郵送料100円×4,000通=400,000円、印刷製本費(案内チラシ2,700部)200,000円 ※令和2年4月1日以降に生まれた方3万円 ※郵送料は案内通知、交付決定通知の2種類を送付。(交付決定通知を送付しない対象者がいる) ④18歳以下の子どもを養育している方	子育て世帯に支援金を給付することにより、町民の福祉の向上に資することができた。 18歳以下の子ども1人当たり2万円支給 給付者数:2,657人(1,511世帯)	53,258,846	53,258,846		53,258,846		R2.5.1	R2.10.30
3	ガンバル子どもたち軽食提供事業	①②休業中の生徒の食を基本とした健康管理と家計負担軽減、分散登校時の水分・栄養補給を行う。また、臨時休業期間中の給食調理事業者や上伊那の酪農家(若手酪農家が企画・開発した「酪農家のおもてなし牛乳」を提供)を支援する。 ③牛乳代350,000円、お米代200,000円、小麦粉代250,000円、おにぎり具・ラップほか200,000円、通信運搬費(ご飯・パン運搬費)30,000円、委託料(ご飯炊飯加工賃200,000円、パン加工賃100,000円) ④町内小中学校の児童・生徒	新型コロナウイルスの感染拡大により休校した生徒の健康管理及び家計の負担軽減を図ることができた。また、臨時休業期間中の給食調理事業者等の支援することができた。	813,937	813,937		813,937		R2.5.1	R2.5.22
4	就学援助を受けている児童・生徒の家庭にお米を配布	①②学校の臨時休校により、給食が提供されず各家庭での食費に対する家計の負担が大きくなっているため、食糧を配布することにより、経済的に困窮している家庭への負担を軽減する。 ③1袋(5kg)1,700円×就学援助受給者180名×2回=612,000円、郵送料150世帯×84円=12,600円 ④小中学生で就学援助を受けている家庭の希望者	経済的に困窮している家庭の負担軽減を図ることができた。	275,752	275,752		275,752		R2.5.1	R2.10.28
5	妊婦さんの外出時安心マスク等配布事業	①②検診等どうしても必要な外出の際の感染予防のためマスク等の配布を行う。あわせて、生活中に必要な物品を配布することで、安心感を持ってもらう。 ③マスク10枚770円×60名+ガーゼハンカチ400円×60名分=70,200円、郵送料30,000円 ④妊娠中の町内在住者	必要とする方へマスクを配布することができた。	88,000	88,000		88,000		R2.4.1	R2.5.7
6	帰省自粛学生応援事業	①②アルバイト先の休業等の厳しい状況下、帰省を自粛し、県外でがんばっている町出身の学生(大学・短大・専門学校)を応援するため、町の特産品等を送る。 ③特産品1,500円×200個=300,000円、郵送料1,500円×200個=300,000円、食の革命プロジェクト協議会負担金400,000円(箱・チラシ代400円×200名=80,000円、白米320,000円) ④辰野町・食の革命プロジェクト協議会	辰野町出身の学生に特産品を贈ることにより、学生生活の支援、事業者支援をすることができた。	686,556	686,556		686,556		R2.5.1	R3.3.18
7	ガンバル小規模事業者応援金	①②感染拡大により大きな影響を受け、国の持続化給付金の給付対象からはずれる事業者に対して事業の継続を支えするため、売上が前年同月比で30%以上50%未満減少した小規模事業者に30万円の応援金を支給。 ③小規模事業者300,000円×30事業者=9,000,000円 ④町内の小規模事業者	新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けている事業者に支援することができた。 支援事業者数:27件	7,931,600	7,931,600		7,931,600		R2.5.1	R2.8.11
8	飲食店デリバリー応援事業	①②注文された商品を辰野タクシーが宅配し、基本料金500円の超過分を負担。消費者の購入意欲を喚起し、売上が激減している町内飲食店を応援する。 ③辰野タクシーへの負担金 配送料の基本料金超過分平均1,000円×200件=200,000円 ④辰野タクシー(株)	タクシーでテイクアウト料理の宅配ができるようになったことで、飲食店同様に外出自粛による減収に苦しむタクシー事業者の売上確保を図ることができた。	200,000	200,000		200,000		R2.5.1	R2.7.10

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施状況及び事業効果	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
					国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	その他 (E)			
9	宅配テイクアウト事業	①②辰野町商工会主催宅配テイクアウトスタンプラリーの付加サービスとして商店街利用の商品券を配布することで消費者の購入意欲を喚起し、売上が激減している町内飲食店を応援する。 ③ほたるシール協同組合負担金 共通商品券2,000円×300名=600,000円 ④ほたるシール協同組合	町内飲食店の売上確保と事業継続を目的としたスタンプラリーにより商品券を配布することで消費者の購入意欲を喚起し、売上確保につながった。	600,000	600,000		600,000		R2.5.1	R2.7.10
10	緊急時食料提供事業	①②コロナウイルスによる失業・休業等により生活困窮となり相談窓口に来られた方で、食料に困っている方にその場で食料品を提供する。 ③食料品100,000円 ④生活困窮者	生活困窮者のために食料品を提供することができた。	52,251	52,251		52,251		R2.4.1	R3.3.2
11	善意のマスクマッチング事業	①②マスクの余剰がある方、手作りマスク等が提供できる方から、マスクを提供していただき、町がマッチング(橋渡し)してマスクを必要とする人に配布する。 ③郵送料38,000円 ④町民	必要とする方へマスクを配布することができた。	37,880	37,880		37,880		R2.4.1	R2.7.31
12	医療体制確保整備支援金	①②町内の医療体制、福祉・介護サービスの継続と感染拡大防止のため、医療体制継続や感染防除のための資材購入費の一部として支援金を交付する。 ③医院・診療所 375,000円×4ヶ所=1,500,000円 歯科医院・薬局47,000円×19ヶ所=893,000円 福祉施設47,000円×7ヶ所=329,000円 ④町内の医院、診療所、歯科医院、保険薬局、福祉施設	町内の医療機関等の事業継続を支援し、地域医療体制の維持を図ることができた。	2,650,000	2,650,000		2,650,000		R2.5.1	R2.8.11
13	医療従事者への感染防除用品の配布	①②町内の医療体制、福祉・介護サービスの継続と感染拡大防止のため、医療従事者、福祉サービス従事者用のマスク、フェイスシールド等を希望に応じて提供する。 ③マスク3,000円×130箱=390,000円、フェイスシールド1,650円×60組=99,000円 ④町内の医院、診療所、歯科医院、保険薬局、福祉施設	町内の医療機関等に感染防除用品の配布することで感染拡大の防止を図ることができた。	168,690	168,690		168,690		R2.4.1	R2.5.23
14	新型コロナウイルス感染症対策基盤整備	①②感染症対策を行うための基盤整備を行うことにより、迅速な対応を行う。サーモカメラ及び非接触型体温計により公共施設への入場時に発熱の確認を行い、感染拡大防止対応を迅速に行う。また、公共施設へのアルコール消毒液等を整備し、防止策をとる。 ③アルコール消毒液他760千円、マスク450千円、フェイスガード320千円、サーモカメラ270千円、非接触型体温計254千円、手袋250千円、パーテーション340千円、マット150千円 ④公共施設	感染症対策としての物品を購入することで、感染拡大を防止することができた。	1,800,859	1,800,859		1,800,859		R2.4.1	R3.3.23
15	町内小中学校衛生管理支援事業	①②町内小中学校の新型コロナウイルスの感染防止を徹底するため、専門業者に委託トイレを中心に清掃・消毒・除菌作業を実施する。町内小中学校のトイレ108箇所を中心に清掃・消毒・除菌業務委託。1箇所あたり週2回、1ヶ月(4週間)実施する。町内小中学校の児童・生徒に手作りマスクを配布する。電解水を使用し、校内の消毒・除菌を徹底する。 ③マスク生地、除菌スプレー容器ほか100,000円、1箇所あたり750円×108箇所×(2回/週)×1ヶ月×税=656,000円 ④小中学校	町内小中学校(辰野中学校、東小学校、西小学校、南小学校、両小野小学校)のトイレ清掃・消毒・除菌を専門業者に委託することで、新型コロナウイルスの感染防止をすることができた。	651,825	651,825		651,825		R2.5.1	R2.7.29
16	LINEを活用した電子総合窓口の開設	①②外出自粛中の町民の利便性向上と来庁に伴う職員及び来庁者の感染リスクを軽減、さらに、感染拡大に伴う重要情報の円滑な周知を図るため、LINEを活用した専用アプリを導入 ③アプリ導入費910,000円、周知チラシ90,000円 ④地方公共団体	町民の利便性向上と来庁に伴う職員及び来庁者の感染リスクの軽減を図ることができた。	770,000	770,000		770,000		R2.6.1	R2.7.20
17	事業者応援クーポン発行事業	①大きな影響を受けた町内商店を応援するためプレミアム付商品券を販売し、新しい生活様式を踏まえ、個人消費を喚起し、町内商店の事業継続を支え、経済の回復を図る ②プレミアム率50%の商品券1セット1万円(千円×15枚)を2万セット販売 ③プレミアム分補助金100,000千円、運營業務委託料6,600千円(換金取扱手数料3,300千円、印刷・デザイン費1,806千円、事務費(金融機関送金手数料、郵送料、事務用品)627千円、一般管理費599千円、広告宣伝費268千円、販売業務委託料1,000千円(1冊50円×20,000冊) ※県補助金(補助率1/2)51,311千円 ④住民(令和2年7月1日現在、辰野町の住民基本台帳に登録がある世帯)	プレミアム率50%のプレミアム付商品券を発行することにより、地域の消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた町内飲食店等における販売促進が図れた。	105,529,736	105,529,736		54,218,736	51,311,000	R2.8.1	R3.2.26

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施状況及び事業効果	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
					国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	その他 (E)			
18	公民館・集会所等の感染症対策事業	①公民館・集会所等の感染症対策を図る ②強制換気のための扇風機の設置、パーテーション、衛生用品の整備 ③大型扇風機16,500円×30台=495,000円、リビング扇風機11,000円×60台=660,000円、固形石鹼330円×200個=66,000円、液体石鹼 660円×30個=19,800円、詰め替えボトル 5,500×30個=165,000円 ペーパータオル110円×2,000個=220,000円、アクリルパーテーション 11,000円×82基=902,000円、Jアルコール消毒液 1,210円×10本×17区=205,700円 ④地域の公民館・集会所	地域の公民館・集会所に感染症対策として物品を購入することで、感染拡大を防止することができた。	1,961,061	1,961,061		1,961,061		R2.4.1	R3.3.18
19	避難所の感染症対策	①感染症対策のための避難所の備品整備 ②問診用のためのエアートント、感染症対策のためのダンボールパーテーション、感染者療養のための室内テント・ベットの整備、衛生用品の整備 ③エアートント(4×5×2.5)2,183,000円×2基=4,366,000円、LEDライト17,000円×2基=34,000円、エアートント内空調等 440,000円×2セット=880,000円、ダンボールパーテーション1,980円×150セット=297,000円、ダンボールベット8,250円×100個=825,000円、フェイスシールド1,430円×100式=143,000円、室内用テント82,500円×30個=2,475,000円、固形石鹼330円×200個=66,000円、液体石鹼660円×30個=19,800円、詰め替えボトル5,500円×30個=165,000円、ペーパータオル110円×2,000個=220,000円、不織布マスク55円×20,000枚=1,100,000円 ④避難所	避難所に感染症対策として物品を購入することで、感染拡大を防止することができた。	8,348,833	8,348,833		8,348,833		R2.4.1	R3.1.27
20	新しい生活様式にあわせた役場庁舎等環境衛生確保事業	①庁舎内で最も不特定多数の人が訪れる総合窓口への感染防止対策を施し、来庁者と対応する職員の感染防止に最大限努めるため、感染防止対策を考慮した庁舎総合窓口へのカウンター(隣接する席の仕切り板や対面のアクリル板の設置を含む)を設置。庁舎内トイレの洋式化、空調設置等により、清潔な環境を整えることで感染拡大防止に努めるため、飛沫感染リスクが高く不衛生なトイレを蓋付洋式トイレと乾式の床等に改修。三密を防ぎ、分散して会議等を行うため庁舎会議室及び図書館へ空調を設置。毎日の大量の郵便業務を少人数で無理なく行うことで、三密を回避し、安全対策と効率化の促進、職員のテレワーク推進を図るため、郵便料金計器を購入。 ③カウンターセット3,200千円(ハイカウンター19台、ローカウンター6台、椅子26脚、パーテーション2台、トレーユニット9台、フラッシュドア7台、エンドパネル4台、連結パネル2台、保管庫10台、パソコンラック4台)、郵便料金計機3,381千円(1台)、電話工事230千円、庁舎トイレ改修工事33,850千円(1階1箇所、2階1箇所、3階1箇所)、図書館空調設置工事8,950千円 ④役場庁舎等	役場庁舎に感染症対策としてトイレ工事、備品等を購入することで、感染拡大を防止することができた。	48,979,172	48,979,172		48,979,172		R2.7.1	R3.3.18
21	町内小中学校衛生管理支援事業	①②町内小中学校の新型コロナウイルスの感染防止を徹底するため、専門業者に委託してトイレを中心に清掃・消毒・除菌作業を実施する。町内小中学校(小学校5校・中学校1校)のトイレ108箇所を中心に清掃・消毒・除菌業務委託。1箇所あたり週2回実施する。 ③トイレ108箇所・手洗い場8箇所×(2回/週)×36週 5,459千円(トイレ@825円~1,200円、手洗い場1,100円) ④小中学校	町内小中学校(辰野中学校、東小学校、西小学校、南小学校、両小野小学校)のトイレ清掃・消毒・除菌を専門業者に委託することで、新型コロナウイルスの感染防止をすることができた。	3,636,200	3,636,200		3,636,200		R2.7.1	R3.3.25
22	学童クラブ感染症予防対策環境整備事業	①②学童クラブの新型コロナウイルス感染症予防対策のため、空調を設置し、児童を分散し保育をする。3密を防ぎ、部屋を分散して対応するため机・椅子を増設する。 ③空調設置工事500千円(東学童クラブ)、長机16台椅子10脚=528千円(東・南学童クラブ) ④学童クラブ	感染症対策としての工事、備品を購入することで、感染拡大を防止することができた。	586,190	586,190		586,190		R2.7.1	R3.3.26
23	指定管理者事業継続支援金	①休業要請に協力し、売上が激減し、再開後に向けた準備や新たな生活様式等に対応するため追加費用が生じている指定管理者を支援する。 ②休業中やその影響下の不採算期間における必要な維持管理費(人件費を除く)や感染防除対策のための費用を500千円から10,000千円を限度に、定率(10/10)で支援(施設区分別限度額 宿泊・入浴施設:10,000千円、入浴施設:5,000千円、その他施設:500千円) ③宿泊・入浴施設 10,000千円×2事業者=20,000千円、入浴施設 5,000千円×1事業者=5,000千円、その他施設 500千円×2事業者=1,000千円 ④指定管理事業者	辰野町新型コロナウイルス感染症指定管理者事業継続支援金交付要綱に基づき、休業中やその影響下の不採算期間における維持管理費(人件費除く)や感染防除のための費用を支援対象経費として、施設区分ごとに指定管理者に支援金を支給した。 たつのパークホテル10,000千円 かやぶきの館10,000千円 湯にいくセンター5,000千円 しだれ栗森林公園500千円 地域活性化センター500千円	26,000,000	26,000,000		26,000,000		R2.4.1	R3.3.10

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施状況及び事業効果	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
					国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	その他 (E)			
24	公共交通事業者等経営安定支援金	①地域の生活交通として、通院、買い物等の安定的な生活の確保を維持するため、感染拡大防止に努めながら事業を継続する事業者に対して支援する。 ②1,000千円を限度に、定率(10/10)で支援 ③1,000千円×1事業者=1,000千円 ④タクシー事業者	タクシー事業者を支援することで、通院、買い物等の安定的な生活交通の確保を維持することができた。	1,000,000	1,000,000		1,000,000		R2.4.1	R2.8.11
25	広報活動事業	①②コロナウイルス関連の情報を知らせるため、リーフレット、ポスター等を作成し、また新聞広告等で連絡する。 ③消耗品100千円、印刷製本費500千円、通信運搬費100千円、広告料110千円 ④地方公共団体	新型コロナウイルス感染症に関する支援策については、主に町ホームページで周知し、他にはチラシを作成して周知することができた。	633,415	633,415		633,415		R2.4.1	R2.12.25
26	新生児特別定額給付金事業	①②特別定額給付金の給付対象とならなかった令和2年4月28日以降に出生し、令和3年3月31日までに給付金が支払済となる新生児に対して給付金を支給(1人10万円) ③給付金100千円×100人=10,000千円、消耗品費50千円、郵送料50千円 ④新生児の保護者	新生児に対して支援金を給付することにより、町民の福祉の向上に資することができた。1人当たり10万円支給 給付者数:70人	7,012,246	7,012,246		7,012,246		R2.4.1	R3.3.31
27	こころの健康事業	①②コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛生活、職を失うケースがあることから、身体的にも精神的にも疲労が蓄積されている。そこで、パソコン・携帯電話・スマートフォンから簡単な質問に答えるだけで、ストレス度や落ち込み度など、自分自身や家族等のこころの状態をチェックできるメンタルチェックシステム「こころの体温計」を導入 ③システム導入委託料60千円、システム使用料10千円 ④地方公共団体	メンタルチェックシステムを導入することにより町民のメンタルヘルス向上と、うつ、自殺、アルコール健康障害を予防することができた。	76,175	76,175		70,000	6,175	R2.9.1	R3.3.8
28	社会体育施設整備事業	①②町内運動施設の換気対策として、町民体育館、ほたるドーム、社会体育館、武道館に大型送風機の設置 ③314,600円×7台=2,202,200円 ④町内運動施設	感染症対策備品を購入することで、感染拡大を防止することができた。	1,771,000	1,771,000		1,771,000		R2.9.1	R2.10.30
29	修学旅行等支援事業	①②修学旅行等の日程変更に伴う旅行会社に支払うキャンセル料金、新型コロナウイルスの感染予防対策として、3密を避けるために必要となるバスの追加料金を町が負担する。 ③旅行会社・バス会社 町内小中学校4,000千円(見込み 小学校5校×600千円、中学校1校×1,000千円) ④小中学生のいる世帯	修学旅行のキャンセル料金を支払うことで町内の小中学校に通う保護者の経済的負担を軽減することができた。	1,706,445	1,706,445		1,706,445		R2.4.1	R3.3.22
30	学校施設コロナ対策環境整備事業	①②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、トイレ手洗器の自動化、換気設備の設置、空調設置工事、水抜栓工事、トイレ改修工事の実施、分散して会議、運動ができるように備品を購入 ③西小学校トイレ手洗器90,750円×12箇所=1,089千円、中学校第2体育館換気扇設置工事500千円(1箇所)、中学校水抜栓工事1,900千円(3箇所)、中学校体育館空調設置工事400千円(1箇所)、川島小学校トイレ改修工事1,551千円(洋式化 男1女1)、南小学校トイレ改修工事5,100千円(洋式化 男1女2)、南小学校トイレ改修工事設計監理委託料450千円、中学校手洗器1,353千円、東小学校手洗器594千円、中学校・西小学校体育館卓球台購入990千円(7台)、南小学校机(20台)・椅子(50脚)、保管庫(10台)購入2,218千円 ④小中学校	学校施設に感染症対策として工事、備品の購入等を行うことで、感染拡大を防止することができた。	14,937,560	14,937,560		14,937,560		R2.8.1	R3.3.23
31	保育園施設コロナ対策環境整備事業	①②園児数の多いクラスでは密を防ぎ分散させて保育を実施する必要があるため、空調を未設置箇所を設置する。また、分散して会議・事務等をするためのパソコンを各園に設置する。 ③羽北保育園820千円(2台)、小野保育園918千円(3台)、東部保育園480千円(1台)、平出保育園450千円(1台)、パソコン1,050千円(6台) ④保育園	保育園施設に感染症対策として工事、備品の購入等を行うことで、感染拡大を防止することができた。	3,472,480	3,472,480		3,472,480		R2.9.1	R3.2.16
32	緊急連絡網システム導入事業	①②新型コロナウイルス感染症対策時、また緊急連絡時に保護者(町内6保育園)との連絡をとるために、緊急連絡網システムを導入 ③645人×(基本使用料@200円・設定費用@75円)×1.1=196千円 ④住民	緊急連絡網システムを導入することで、保護者に対して速やかな連絡が可能となった。	195,112	195,112		195,112		R2.8.1	R2.8.1
33	指定管理施設衛生確保事業	①②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、指定管理施設のたつのパークホテルの男女浴室トイレ改修工事(洋式化)、共生館あさひヶ丘に空調を設置する。 ③トイレ改修工事費1,100千円(男1女1)、空調設置工事1,600千円 ④たつのパークホテル、共生館あさひヶ丘	指定管理施設に感染症対策として工事を実施することで、感染拡大を防止することができた。	2,618,000	2,618,000		2,618,000		R2.9.1	R3.1.29

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施状況及び事業効果	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
					国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	その他 (E)			
34	医療体制確保整備支援金事業	①②社会的に欠かすことのできない施設の衛生基準を高めることで利用者の安全を確保するとともに、医療体制の継続を図るために支援金を交付 ③50千円×6施術所＝300千円 ④接骨院及び整骨院	町内の接骨院及び整骨院の事業継続を支援し、医療体制の維持を図ることができた。	300,000	300,000		300,000		R2.9.1	R2.10.20
35	役場庁舎情報化推進事業	①②新型コロナウイルスの感染が拡大したことでテレワーク、WEB会議等の需要が急速に高まっていることから役場庁舎の環境を整備する ③テレワーク環境構築(認証システム3,575,000円、リモートアクセス用ライセンス2,651,000円、端末3,718,000円(20台)、保守907,500円)、WEB会議環境整備(電子黒板1台759,000円、机898,000円(12台)、椅子932,000円(26台)、配線工事450,000円、壁工事350,000円、ノートPC699,000円(5台)、プリンタ78,000円(1台)、保管庫45,000円(1台)、Zoom使用料33,000円×4＝132,000円、プロジェクト641,000円(4台)、スクリーン84,000円(4台)、マイクスピーカーシステム390,000円(4台)、マイクスピーカーシステムマイク165,000円(5台)、Webカメラ82,500円(7台)、三脚22,000円(4基)、ヘッドセット33,000円(3台) ④地方公共団体	各種システム構築(テレワーク環境、口座振替Webシステム等)、WEB会議用の備品等を購入したことで利便性の向上、情報化の推進を図ることができた。	15,781,133	15,781,133		15,781,133		R2.9.1	R3.3.24
36	商工業振興資金利子補給及び保証料事業	①②新型コロナウイルス感染症により経営に大きな影響を受けている町内中小企業の経営の安定化を図るため、町の融資制度である商工業振興資金の利子補給と保証料を補助する。 ③利子補給70件9,000千円、保証料70件44,000千円 ④事業者	保証料補給金、利子補給金を補助することで、新型コロナウイルス感染症により経営に大きな影響を受けている町内中小企業の経営の安定化を図ることができた。	53,021,302	53,021,302		53,000,000	21,302	R2.4.1	R3.3.31
37	ガンバル町内商店応援事業	①②新型コロナウイルス感染症により経営に特に大きな影響を受ける町内事業者の売上確保と事業継続を目的として、ほたるマイカードを使ったポイント還元を支援。9月末までにほたるシール加盟店で買い物をした場合、ほたるマイカードポイントを10倍付与。 ③ポイント付与費40,250千円(3ヶ月分)、ポスター制作費300千円、広告宣伝費100千円 ④住民	加盟店61店舗の売上ベースで、3ヶ月間の前年同月比で、4.3倍、1億7,200万円アップの経済効果があった。	40,644,150	40,644,150		40,644,150		R2.6.1	R2.10.20
38	辰野町あすのプロジェクト事業	①②新型コロナウイルス感染症により経営に特に大きな影響を受ける町内事業者の売上確保と事業継続を目的として、辰野町商工会が実施する「辰野町あすのプロジェクト」への負担金(飲食店、宿泊施設限定プレミアム付チケット発行事業とスタンプラリー事業) ③辰野町商工会負担金2,700千円(チケット発行事業960千円、スタンプラリー事業2,910千円)※商工会自己財源より1,170千円負担 3,870千円-1,170千円＝2,700千円) ④事業者	スタンプラリーには57店舗が参加し、景品抽選には町内外からのべ2,500通の応募があった。町内事業者の売上確保につながった。	2,700,000	2,700,000		2,700,000		R2.6.1	R2.7.10
39	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするため、保健衛生用品等を整備。 ②③感染対策用品の整備 (内訳) ・学校保健衛生用品 443千円 ・感染症対策・学習保障等に係る消耗品 3,448千円 ・感染症対策・学習保障等に係る備品 1,052千円 ・感染症対策に係るトイレ清掃委託 1,500千円 ・両小野小中学校組合負担金 269千円 総額6,712千円のうち国庫補助対象分6,443千円 ④小中学校	感染症対策として、感染症対策物品の購入、感染症対策に係る備品、トイレ清掃等を行うことで、感染拡大を防止することができた。	6,634,642	6,634,642	3,221,000	3,222,000	191,642	R2.4.1	R3.3.26
40	学校保健特別対策事業費補助金(単独分)	①感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするため、保健衛生用品等を整備。 ②③感染対策用品の整備 (内訳) ・学校保健衛生用品 443千円 ・感染症対策・学習保障等に係る消耗品 3,448千円 ・感染症対策・学習保障等に係る備品 1,052千円 ・感染症対策に係るトイレ清掃委託 1,500千円 ・両小野小学校組合負担金 269千円 総額6,712千円のうち国庫補助対象外分269千円 ④小中学校	感染症対策として、感染症対策物品の購入、感染症対策に係る備品、トイレ清掃等を行うことで、感染拡大を防止することができた。	264,000	264,000		264,000		R2.4.1	R3.3.25

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施状況及び事業効果	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
					国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	その他 (E)			
41	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)	①新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業等緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急を実現するため、小中学校の児童生徒用パソコン端末機(1人1台)及びネットワーク環境等を整備する。 ②③ ・タブレット端末代(3人に1台分) @55千円×67台=3,685千円 ・タブレット端末代(3人に2台分)国庫補助事業継ぎ足し分 @(55千円-45千円)×881台=8,810千円 ・端末保守費23,128千円 ・両小野小組合端末整備に係る負担金1,889千円 内訳 タブレット端末代(3人に1台分) @53千円×12台=636千円 タブレット端末代(3人に2台分)国庫補助事業継ぎ足し分 @(58千円-45千円)×82台=1,066千円 端末保守費2,017千円 合計3,719千円×児童割0.508=1,889千円 ④小中学校	児童生徒用のパソコン端末機(1人1台)及びネットワーク環境等を整備することで情報化の推進を図ることができた。	37,511,948	37,511,948		37,511,948		R2.9.1	R3.3.25
42	オンライン教育環境整備事業	①②GIGAスクール構想の早期実現に向けて、オンライン学習に対応した学習支援システムの導入、デジタル教科書及びZoomライセンスを購入する ③学習支援システム18,061千円(辰野中学校6,522千円、西小3,990千円、東小3,242千円、南小1,746千円、川島小1,746千円、両小野小815千円)、デジタル教科書7,646千円(小学校5校(西小、東小、南小、川島小)6,318千円、両小野小802千円、辰野中526千円)小学校:算数、国語、社会、音楽 中学校:地理、歴史、公民、地図、数学、理科、音楽、美術、技術、家庭、英語、国語)、Zoom 11ライセンス500千円 ④小中学校	オンライン学習に対応した学習支援システムの導入、デジタル教科書等を購入することで情報化の推進を図ることができた。	25,310,953	25,310,953		25,310,953		R2.4.1	R3.3.26
43	インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	①②妊婦及び集団生活が始まった年少児、小学1年生、受験を控えた中学3年生に対し、インフルエンザ予防接種の費用助成(一人につき1回のみ2,000円)を行い、二重感染の不安軽減と、家計の負担軽減を図る。 ③2千円×445名=890千円 ④妊婦、年少児、小学1年生、中学3年生	新型コロナウイルス感染症と同時流行を抑えることができた。	410,000	410,000		410,000		R2.11.1	R3.3.22
44	新型コロナウイルス検査費用補助金事業	①②辰野町に帰省するために自費診療によるPCR検査等をした方の検査費用を補助する。年末年始(12/16~1/31)に帰省する方、年齢制限なし、PCR検査の場合は最高20,000円、抗原定量検査の場合は最高7,500円補助する。 ③チラシ印刷代30千円、広告代40千円、チラシ配布委託料70千円、補助金5,000千円(20千円×250人) ④年末年始(12/16~1/31)に帰省する方	帰省や仕事等で検査の必要な方に検査費用の助成をすることができた。 補助件数:124件	2,185,209	2,185,209		2,185,209		R2.12.1	R3.3.10
45	国保事業主傷病見舞金事業	①②国民健康保険加入者のうち、事業主が新型コロナウイルス感染症に感染または感染が疑われる場合に、傷病見舞金を支給する。一人あたり1回限り、一律7万円を支給する。 ③70千円×5人 ④国民健康保険加入の事業主	国保加入者で個人事業主の方に見舞金を支給した。支給者数:1名	70,000	70,000		70,000		R2.12.1	R3.2.22
46	収納システム整備事業	①②人との接触をしないで支払いができるPay-easy収納を導入し、より安全で便利な収納体制を整える。 ③システム導入委託料567千円 ④地方公共団体	人との接触をしないで支払いができるシステムを導入することで、接触機会の削減を図ることができた。	550,000	550,000		550,000		R2.12.1	R3.2.15
47	高速バス事業者感染防止対策支援事業	①上伊那地域住民の交通手段である高速バス運行事業者(全2業者)が実施する感染防止対策(座席仕切り板、空間清浄機、ゴーグル、フェイスシールドの設置・購入)に要する経費を支援する。 ②上伊那広域連合への負担金 ③総額 1,000千円×18台=18,000千円 うち、辰野町負担分 2,000千円 上伊那広域連合を構成する他市町村負担分 16,000千円 ④上伊那広域連合(事業者へは広域連合から支出)	高速バス運行事業者に経済的な支援を行い、感染防止対策に取り組むことにより、町民が安心して公共交通を利用できるようになった。	1,939,000	1,939,000		1,939,000		R3.1.1	R3.3.31

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施状況及び事業効果	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	
					国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	その他 (E)			
48	飲食店テイクアウト・デリバリー応援事業	①②辰野町商工会が実施する、町内飲食店の売上確保と事業の継続を図るためのテイクアウト・デリバリー事業の応援をする。 ③負担金2,000千円(パンフレット製作委託料1,079千円、通信費142千円、広告費779千円) ④飲食店	町内飲食店の新たな取組として、売上確保につながった。自発的なイベント開催など事業者発の前向きな動きにもつながった。	1,986,651	1,986,651		1,986,651		R3.2.1	R3.3.31
合計				494,358,809	494,358,809	3,221,000	439,607,690	51,530,119		